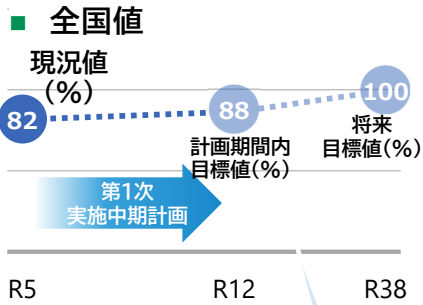


【39】道路橋梁等の耐震機能強化【国土交通省】

指標名：緊急輸送道路(約110,000km)上の橋梁(約65,000橋(令和5年度末時点))の耐震化率

「重ねるハザードマップ」において、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強状況について公開。



見える化

■ 指標の定義

$((\text{緊急輸送道路上の橋梁の耐震化完了箇所数}) / (\text{緊急輸送道路上の橋梁の耐震化必要箇所数})) \times 100$

■ ポイント

緊急輸送道路上にある橋梁が被害を受け通行不能となると、避難・救助や物資運搬等の道路を使用した災害対応に多大な影響が生じるため、耐震化の推進が必要である。

■ 用語解説

●緊急輸送道路
 …災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する基幹的な道路。

選択中の情報 *ワランハートル

災害種別で選択

- 洪水・内水 (想定最大規模)
- 土砂災害 (想定最大規模)
- 高潮 (想定最大規模)
- 津波 (想定最大規模)
- 道路防災情報
- 地形分類

情報リスト

- 災害リスク情報
- 道路防災情報
 - 道路冠水想定箇所 解説
 - 事前通行規制区間 解説
 - 緊急輸送道路 解説
 - 予防的通行規制区間 解説
 - 緊急輸送道路上(国管理)の電柱の有無 解説
 - 緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強状況 解説
 - 避難路沿道建築物の耐震化状況 解説

緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強状況
 落橋等防止性能のない橋梁 (R6.3時点)
 凡例

「すべての情報から選択」をクリック
 ↓
 「道路防災情報」をクリック
 ↓
 「緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強状況」を選択



出典：重ねるハザードマップ <https://disaportal.gsi.go.jp/index.html>
 ※ 各地域の洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示可能。

